

公立大学法人島根県立大学の平成28年度に係る業務実績に関する評価のポイント

1 中期目標項目別評価の概要

中期目標項目	評 定 平 均 値	AA	A	B	C	D
		特筆すべき進捗状況	順調に進んでいる	概ね順調	やや遅れている	大幅な改善が必要
		~4.3	4.2~3.5	3.4~2.7	2.6~1.9	1.8~
I 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり	4.00		A			
II 大学の教育研究等の質の向上	5段階による評価でなく、進捗状況・成果を総合的に評価する。					
III 自主的、自律的な組織・運営体制の確立	3.82		A			
IV 評価制度の充実及び情報公開の推進	3.33			B		
V その他業務運営に関する重要事項	3.95		A			

評点平均値：年度計画各項目を5点満点で評定し、中期目標の大項目ごとに平均値を算出したもの。

評定：評点平均値に応じて、AA、A、B、C、Dの5段階で評価。

2. 中期目標項目別評価内容

I 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり

評 価	A	順調に進んでいる	評定平均 4.00
評価にあたって 考慮した事項	<p>○浜田キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田キャンパスの将来構想について、受験動向の分析、パブリックコメント、先行事例現地調査などを踏まえ、法人としての将来構想を策定し、島根県及び大学支援協議会に報告した。(No.1-2) <p>○松江キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江キャンパスの新学部設置等について、設置認可申請の準備を着実に進め、平成29年3月に、文部科学省へ「学部設置認可申請書」及び「教職課程認定申請書」、関東甲信越厚生局に「管理栄養士養成指定施設申請書」を提出した。また、県内外の高校2年生を対象にした進学アンケートや県内事業所等を対象にした採用意向調査、オープンキャンパスでのアンケート等の結果から、学生確保の見通しが立てられた。(No.1-1) 		

II 大学の教育研究等の質の向上

項目	計画の進捗状況及び成果																								
<p>高い知性と豊かな人間性を育み、社会に役立つ人材を輩出する大学</p>	<p>特筆すべき点・注目される点</p>	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根大学・松江高専と連携して実施する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」にて、学生と企業の情報交換会である「しまね大交流会」に学生が多数参加した。（浜田キャンパス 106 名、松江キャンパス 34 名）（No. 36） <p>○浜田キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップについて、事前学習科目の充実により参加学生が増加するなど、キャリア支援の取組みにより、就職率が 98.0%となり昨年度の 99.1%に引き続き高い水準を維持した。（No. 9, 10, 35） 英語教員によるゼミの開講、文章作成能力向上のための科目の開講を行った結果、9名の学生が卒業論文を英語で執筆した。また TOEIC 730 点程度の学生を 2 名輩出し、目標を達成した。（No. 7） <p>○出雲キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師が不足する県内中山間地域の学生を対象とした推薦制度を新たに導入し、4名の入学者を得た。（No. 2） 看護学科、別科助産学専攻ともに昨年に引き続き、就職率 100%を達成した。（No. 35） <p>○松江キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学生を対象とした模擬面接などキャリア支援の取組みにより、全国短大平均就職率を上回る 97.5%の就職率を達成した。（No. 35） 																							
	<p>遅れている点・課題がある点</p>	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般入試志願倍率は、浜田キャンパスで7.12倍（昨年度8.39倍）、松江キャンパスで3.27倍（昨年度3.28倍）となり、昨年度より減となった。出雲キャンパスでは、5.94倍（昨年度2.54倍）となり、昨年度より上昇したものの、過去の水準までは回復していないことから、志願倍率の向上に全学で取り組んでいただきたい。 <p>○一般入試志願倍率</p> <table border="1" data-bbox="497 1756 1299 1939"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田</td> <td>9.27</td> <td>8.33</td> <td>8.12</td> <td>8.39</td> <td>7.12</td> </tr> <tr> <td>出雲</td> <td>7.91</td> <td>6.17</td> <td>9.31</td> <td>2.54</td> <td>5.97</td> </tr> <tr> <td>松江</td> <td>3.34</td> <td>3.60</td> <td>2.98</td> <td>3.28</td> <td>3.27</td> </tr> </tbody> </table>		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	浜田	9.27	8.33	8.12	8.39	7.12	出雲	7.91	6.17	9.31	2.54	5.97	松江	3.34	3.60	2.98	3.28
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8																				
浜田	9.27	8.33	8.12	8.39	7.12																				
出雲	7.91	6.17	9.31	2.54	5.97																				
松江	3.34	3.60	2.98	3.28	3.27																				

遅れている点・課題がある点

○浜田キャンパス

・大学院北東アジア開発研究科（後期）課程について、入学定員2名のところ、入学者がおらず、入学定員充足率が0%だった。

○浜田キャンパス・松江キャンパス

・浜田キャンパスのFDの取組みについて、新たに「授業公開week」の試行を始めたが、授業アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率は平成27年度から改善されなかった。また、松江キャンパスにおいても、試行的に授業公開を実施しているものの、学生アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率は改善されていない。

一方、出雲キャンパスでは、全教員が授業公開を行い、報告書を提出しているほか、学生アンケート回答率、専任教員によるフィードバック提出率は高水準である。浜田・松江キャンパスでも今後さらなる取組みの強化を行い、組織的なFDの取組みを進められたい。（No.25～No.27）

○学生アンケート回答率

（単位：％）

		H26	H27	H28
浜田	春学期	47.0	47.2	41.4
	秋学期	39.9	35.1	34.6
出雲	春学期	87.0	96.4	98.8
	秋学期	94.1	98.0	100
松江	春学期	88.1	85.7	77.6
	秋学期	79.5	71.5	65.1

○専任教員によるフィードバック提出率

（単位：％）

		H26	H27	H28
浜田	春学期	78.3	61.7	55.1
	秋学期	71.1	53.2	53.2
出雲	春学期	100	100	100
	秋学期	100	100	100
松江	春学期	80.6	86.7	54.5
	秋学期	-	-	56.7

FD・・・ファカルティ・ディベロップメント（Faculty Development）

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称

<p>地域に根ざし、地域に貢献する大学</p>	<p>特筆すべき点・注目される点</p> <p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に採択を受けた「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」を今年度も引き続き実施した。 ・県立大学独自の制度である「しまね地域マイスター」を、昨年の浜田キャンパスに引き続き、平成28年度は出雲キャンパスでも開始した。昨年度より開講している「しまね地域共生学入門」は、浜田・出雲・松江キャンパスの必修科目として整備し、すべての学生が島根地域の現状を理解する科目を学ぶこととなった。 <p>また浜田キャンパスでは、新たに認定のための科目として、「地域共生演習」「地域課題総合理解」を開講し、地域課題の解決ができる実践力を持った人材の育成を進めた。(No. 46)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生によるボランティア参加者は、昨年度より115人多い889人となり、学生のボランティア意識の向上が見受けられる。(No. 41) <p>○浜田キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市・益田市との共同研究として、「ヨシタケコーヒーを活かした観光と地域活性」「萩・石見空港を利用した着地型観光と広域観光ルートの提案」など7件を実施したほか、新たに邑南町との共同研究で「邑南町における地区別の人口分析及びビジョンについての調査研究」に取り組んだ。(No. 46-2) <p>○出雲キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に開講した緩和ケア認定看護師教育課程において19名の修了者を輩出し、医療現場の課題に取り組む実践的な人材育成を進めた。 ・別科助産学専攻では、実習施設・機関との連携を深め、各施設の指導者から、施設概要、実習の方法等についての説明会を開催した。結果、県内学生の県内医療機関への理解を深めることができ、県内就職、特に県西部への就職に繋げることができた。(県東部就職5名、県西部就職7名) (No. 16-3) ・大学院看護学研究科では定員5名に対し6名の入学者があり、昨年に引き続き定員を充足した。より高度な看護技術を取得のための人材育成を順調に進めている。(No. 19-2, 3) ・邑南町でタウンミーティングを開催し、地域医療を担う人材育成や、地域と大学の連携について意見交換を実施するなど地域貢献に取り組んだ。(No. 48) ・「地域在住高齢者の死生観と終末期療養ニーズ」「島根の地を活かした療養者向けヘルスツーリズムの開発」など、地域看護・健康の向上のための研究に取り組んでいる。
-------------------------	---

地域に根ざし、地域に貢献する大学	特筆・注目される点	<p>○松江キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人学び直しのための環境整備のため、新たに「履修証明プログラム」を開講し、8コースで延べ111名の受講申し込みがあった。(No.46) ・自治体・企業等と連携して、地元食材を使用した食品を3品開発し、地域の食文化の向上・産業の活性化に貢献した。(No.48-2) 																																																																							
	遅れている点・課題がある点	<p>○全学</p> <p>【県内入学率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田キャンパス 21.7% (昨年度 28.8%)、出雲キャンパス 51.2% (昨年度 63.8%)、松江キャンパス 69.1% (昨年度 69.8%) となった。県内入学率は近年数年間をみると減少傾向にあり、県内入学者の向上に努められたい。 <p style="text-align: center;">○入学者に占める県内出身者 (単位：%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田</td> <td>35.9</td> <td>35.9</td> <td>23.7</td> <td>28.8</td> <td>21.7</td> </tr> <tr> <td>出雲</td> <td>64.0</td> <td>61.4</td> <td>58.8</td> <td>63.8</td> <td>51.2</td> </tr> <tr> <td>松江</td> <td>62.5</td> <td>64.8</td> <td>66.4</td> <td>69.8</td> <td>69.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【県内就職率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田キャンパス 23.0% (昨年度 25.2%)、出雲キャンパス 47.0% (昨年度 59.5%)、松江キャンパス 69.7% (昨年度 68.6%) となった。県内就職率も近年数年間をみると減少傾向にあることから、県立大学として、地域により多くの人材を輩出するように、県内就職率向上の取り組みを進められたい。 <p style="text-align: center;">○県内就職率 (単位：%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田</td> <td>25.8</td> <td>27.7</td> <td>23.7</td> <td>25.2</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>出雲</td> <td>81.3</td> <td>70.6</td> <td>—</td> <td>59.5</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>松江</td> <td>75.0</td> <td>75.0</td> <td>66.7</td> <td>68.6</td> <td>70.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○県内出身者の就職率 (単位：%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田</td> <td>51.1</td> <td>54.3</td> <td>48.9</td> <td>57.8</td> <td>58.1</td> </tr> <tr> <td>出雲</td> <td>87.8</td> <td>82.5</td> <td>—</td> <td>75.5</td> <td>72.1</td> </tr> <tr> <td>松江</td> <td>92.2</td> <td>96.0</td> <td>91.2</td> <td>93.7</td> <td>89.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出雲の看護学部は、H 2 6 は短期大学部から四年制大学への過渡期であるため卒業生はいない。</p>		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	浜田	35.9	35.9	23.7	28.8	21.7	出雲	64.0	61.4	58.8	63.8	51.2	松江	62.5	64.8	66.4	69.8	69.1		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	浜田	25.8	27.7	23.7	25.2	22.5	出雲	81.3	70.6	—	59.5	47.8	松江	75.0	75.0	66.7	68.6	70.4		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	浜田	51.1	54.3	48.9	57.8	58.1	出雲	87.8	82.5	—	75.5	72.1	松江	92.2	96.0	91.2	93.7
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8																																																																				
浜田	35.9	35.9	23.7	28.8	21.7																																																																				
出雲	64.0	61.4	58.8	63.8	51.2																																																																				
松江	62.5	64.8	66.4	69.8	69.1																																																																				
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8																																																																				
浜田	25.8	27.7	23.7	25.2	22.5																																																																				
出雲	81.3	70.6	—	59.5	47.8																																																																				
松江	75.0	75.0	66.7	68.6	70.4																																																																				
	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8																																																																				
浜田	51.1	54.3	48.9	57.8	58.1																																																																				
出雲	87.8	82.5	—	75.5	72.1																																																																				
松江	92.2	96.0	91.2	93.7	89.6																																																																				

北東アジアをはじめとする国際的な教育研究を推進する大学	特筆・注目される点	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに世新大学（台湾）、世宗大学校（韓国）との包括協定、学生派遣協定を締結し、国際的な教育環境を整備した。
	遅れ・課題がある点	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外留学、海外研修など国際交流参加者は147名となり、昨年度より47名の増となったものの、目標の年間180人以上には届かなかったため、今後さらなる参加者の増加を図りたい。

Ⅲ 自主的、自律的な組織・運営体制の確立

評価	A	順調に進んでいる	評価平均 3.82
評価にあたって考慮した事項	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算編成作業にて事務事業の見直しを行い、各キャンパスの課室に対して該当項目を提示し、課題の検討・整理を行い、その結果を平成29年度当初予算へ反映させた。（No. 80） <p>○松江キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月に地域連携課を新設し、地域貢献事業の体制強化を図った。（No. 68） 		

IV 評価制度の充実及び情報公開の推進

評価	B	概ね順調	評価平均 3.33
評価にあたって考慮した事項	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーからの意見のうち、学生・市民研究員などからの意見の一部について制度変更を行った。 <p>【制度変更実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が、所属しているプログラム以外のゼミを選択できるようにした。 ・市民研究員と大学院生との共同研究に関する助成制度について、助成対象の拡大を行った。 		
今後の取り組みが期待される事項	<p>○浜田キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度評価にて指摘した、県内入学率・県内就職率の向上、FDの取り組みについて、評価結果を大学運営の改善に活用するように努めたが、反映しきれていない。現状の課題を整理し、より効果的な取り組みの実施を期待する。(No.82) 		

V その他業務運営に関する重要事項

評価	A	順調に進んでいる	評価平均 3.95
評価にあたって考慮した事項	<p>○全学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動に積極的に取り組んだ結果、3キャンパスのホームページサイト訪問者数が、本部及び3キャンパス合計で前年度比15.5%の増となり、年度計画数値目標である前年度比10%増を達成した。(No.87) ・テレビCM、高校生向けのLINEによる入試広報など、様々な広報媒体を組み合わせて、全学で入学定員充足率100%を達成した。(No.87-4) <p>○出雲キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒者・就職2年目の卒業生・修了生を対象としたホームカミングデーを開催し、14名の参加があった。近況報告、体験談の共有などによりリフレッシュを図ることによる離職防止、卒業生・修了生を対象に行っているリカレント教育といった研究支援等の紹介を行った。 		

3. 平成27年度実績に係る今後の取組が期待される事項

平成27年度実績評価で遅れている点とされた事項

項 目	対 応
浜田キャンパス将来構想の検討 【指摘】 ・検討を早急に進めること	<input type="checkbox"/> 浜田キャンパスで地域連携機能の強化、学部教育の魅力化を柱とする「浜田キャンパス将来構想検討報告書」を取りまとめた。 <input type="checkbox"/> 法人改革検討委員会では、上記報告書を基に、受験動向の分析、パブリックコメント、学外意見交換会、先行事例の現地調査などを踏まえ、中長期的な法人経営の観点から将来構想を策定し、島根県及び島根県立大学支援協議会に報告した。
浜田キャンパスにおけるFD（教員の授業改善）の取組み 【指摘】 ・学生の授業評価の把握、授業公開の定着など、FDを組織的に取組むこと	<input type="checkbox"/> 授業アンケートの回答率向上のため、回答期間を延長（2週間→4週間）したが、回答率、教員のフィードバック率ともに低下した。 アンケート回収率の向上に向け、平成29年度にはスマートフォンから回答できるようにする。さらに、平成30年度にはアンケートシステムを更新し、回答しやすいシステムの構築を計画している。 また、フィードバック率の向上に向けては、授業評価の高い教員にFD研修の講師を依頼するなど、教員のモチベーションを高める取組みを実施する。 <input type="checkbox"/> 授業公開を試行実施した。実施数は少なかった（授業を公開した教員：10名21講座、参観した教員：2名）が、平成29年度は本格実施とし、授業公開の定着拡大を図る予定である。

<p>浜田キャンパス県内 入学率の向上</p> <p>【指摘】</p> <p>・県内高校生や地域の ニーズをつかみ、進学 先として魅力ある大 学づくりに取組むこ と</p>	<p>□県内高校の進路指導担当教員を春40校、夏28校、秋22校訪問し、浜田キャンパスの学びや入試に関する情報提供を行った。現在も、学長自らが高校を訪問し、大学の魅力をPRするとともに、大学に対する意見を伺っているところである。</p> <p>□新規事業として「学びの共有プロジェクト」を実施し、本学学生を浜田高校に2回、江津高校に1回、飯南高校に1回派遣し、本学の学びでどのように成長できるのかを直接高校生に伝えた。</p> <p>※学びの共有プロジェクト</p> <p>本学学生が、高校生に向けて、本学での具体的な学びや自己の取組みのプレゼンテーションを行い、進学を後押しする。</p> <p>□オープンキャンパスにおいては、合宿型の「1泊2日模擬研究」を初開催し、総合政策学部の学修活動を体感してもらい理解を促した。12名の枠に22名もの応募があり、県内参加者のうち6名は自己推薦入試で合格している。</p> <p>□志願者が伸び悩んでいる自己推薦入試においては、平成31年度入試より、</p> <p>①安心して受験できるよう、第一段階選抜を11月に行い、不合格者への通知を早めに行う</p> <p>②英語外部検定や資格・検定試験結果を利用した大学入試センター試験「みなし得点」を導入することで、特に専門高校・総合学科卒業生の受験機会を増やすこととしている。</p>
<p>浜田キャンパス県内 就職率向上</p> <p>【指摘】</p> <p>・インターンシップ参 加者の増加を図るなど 、県内就職率向上のた めの取組みを進めるこ と</p>	<p>□地域の実情を理解し、地域で活躍できる人材を育成するため、初年次から地域に出向き学ぶ必修科目「フレッシュマン・ワールドセミナー」や本学独自の認定制度「しまね地域マイスター認定制度」など、今後も地域指向型教育を着実に進めていく。</p> <p>□ジョブカフェとの連携やCOC+事業（「しまね大交流会」への参加など）を通して、学生に県内企業の魅力に触れる機会を提供した。更に平成29年度には、島根の魅力や地域で働き暮らすこ</p>

	<p>とについて関心を高めていくため、学生と企業が気軽に交流できるプログラム「ワークカフェ」を実施する。</p> <p>□インターシップについては、年々、参加者は増加しているが、低年次からの参加が増えるよう働きかけるとともに、CO-C+事業を通じて、期間や内容のあり方も企業側と協議を重ねるなど、県内就職に繋がるように取り組んでいく。</p>
--	---